

2024年7月25日

お取引先様 各位

白銅株式会社

日軽金アクト押出製品の J I S 表記運用に関するお知らせ

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

日軽金アクト株式会社（以下、日軽金アクト）の主力製造拠点である日軽蒲原株式会社（販売元：日軽金アクト）では2021年12月24日付でJIS認証の一時解除の通知を受領しました。

これに伴い、検査成績書へのJIS規格番号表示を2024年7月29日弊社工場入荷分より再開されるとの報告を受けました。

この報告を受けまして、日軽金アクト製品の弊社在庫製品（アルミ管棒製品）の取り扱いについて下記の通り対応させていただきますので、ご連絡申し上げます。

敬具

記

1. JIS 該当品（JIS H4040/H4080 ミルシート表示運用）

2024年7月29日弊社入荷分より規格欄へのJIS規格番号表示へ移行となります。これにより、社内規格扱いのミルシートで記載されていた注記（※1）は削除されます。

（※1）本製品は、JIS H****で要求されている製品寸法・機械的性質・化学成分の規格値を満たしております。

但し、以下の製品は2024年7月29日以降におきましてもミルシートへの規格番号表示を見合わせます。

① 軽金属押出開発㈱（KOK）への製造委託品

2017：φ125ミリ以上、5052、5056、6061：155ミリ以上

② 引抜加工や熱処理等において外注工程を通過した製品

5056、5052：φ19ミリ以下

2. JIS 非該当品

2024年7月29日以降もミルシートの規格欄には社内規格の表示となります。

3. 弊社の対応について

商品・品目サイズによっては、他社メーカー製品を在庫しておりますので、J I S 規格認証（該当）製品が必要な場合には、ご注文・お見積り時にご指定下さい。

但し、JIS 規格非該当品および在庫が無い場合にはご容赦下さい。

以上

2024年7月23日

白銅株式会社 御中

日軽金アクト押出製品の JIS 表記運用について



日軽金アクト株式会社
産業機器ビジネスユニット

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社子会社である日軽新潟株式会社（以下「日軽新潟」）及び日軽蒲原株式会社（以下「日軽蒲原」）における品質に関する不適切行為について、お客様をはじめステークホルダーの皆様に多大なご迷惑をお掛けしていますことを深くお詫び申し上げます。

この度、日軽新潟では2024年4月25日付にて JIS 認証を取得し、日軽蒲原でも2021年12月24日付で一時停止解除の通知を受領しております。

これに伴い、上記2社製造品の検査成績書への JIS 規格番号表示を2024年7月29日納入分より再開することとし、下記にその運用をご連絡申し上げます。

再発防止を着実に実施し皆様からの信頼回復に向け取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

敬具

【JIS H4040/H4080 ミルシート表示運用】

1. JIS 該当品

2024年7月29日納入分より規格欄への JIS 規格番号表示へ移行します。これにより社内規格扱いのミルシートで記載されていた注記（※1）は削除されます。

（※1）本製品は、JIS H****で要求されている製品寸法・機械的性質・化学成分の規格値を満たしております。

ただし、以下の製品は2024年7月29日以降におきましてもミルシートへの規格番号表示を見合わせます。①②の製品は表示体制が整いました後にあらためて運用のご連絡を致します。

- ① 軽金属押出開発(株)への製造委託品(2017 φ125 以上、5052・5056・6061 φ155 以上)
- ② 引抜加工や熱処理等において外注工程を通過した製品（5056・5052 φ19 以下）
- ③ 形材番号登録製品（弊社より発行する改定図面のお取交しが条件）
- ④ 端部に面取りなどの追加工を施した製品（JIS 非該当のため）

なお、JIS マークについては自動的な表示運用とはなりません。JIS マーク表示ご要望のお客様とは別途協議のうえでの対応とさせていただきますことをご了承ください。

2. JIS 非該当品

2024 年 7 月 29 日以降も規格欄には社内規格の表示となります。

以上